

事業名	施設の管理運営等（文化芸術関係）	担当課	生涯学習文化課・文化財課
取組実績	<p>【各施設の主な事業内容】</p> <p>1 公会堂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルオープン2周年記念 映文連アワード2022受賞記念 保存修理記録映像上映会 ・公会堂Cityコンサート ・公会堂フォトウェディング ・旧函館区公会堂 緑の学校 ・はこだて国際民俗芸術祭 (公開時間延長(入館料無料)＋イベント会場の1つとして2階大広間を使用) ・公会堂開堂記念日コンサート&ざいだん出前コンサート ・会議所事務室フォトスポット ・旧函館区公会堂写真展～平成の函館～ <p>2 北洋資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子体験教室「貝殻でつくろう」 ・第28回函館の「海と港」児童絵画展 ・冬休み特別企画「大漁旗をつくろう」 <p>3 文学館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川啄木直筆資料展 特別展「小説家・石川啄木」 ・企画コーナー収蔵資料展「函館・道内ゆかりの女性作家たち」 ・文学のひとつき 第1回「作家・辻仁成と函館」 第2回「朗読で綴る函館の文学vol.18」 願乗寺の娘トネ～函館女性に見る自立心とその生き方～ ・文学の道しるべ 第1回「子母澤寛の交友～長谷川海太郎、司馬遼太郎」 第2回「いま読み返したい、三浦綾子」 ・啄木ゆかりの地子ども交流事業「函館・盛岡交流啄木かるた大会」 ・夏休み企画「クイズ・石川啄木と函館」 ・中庭テラス読み聞かせ会 ・特別企画「文学と朗読の世界」～谷村志穂自著を読む10～ ・開館30周年記念 石川啄木講座「函館大火によって啄木は一度死んだ・・・。」 <p>4 市民会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤井フミヤCONCERT TOUR 2023 Special LoveSong 函館公演 ・25th Anniversary 高嶋ちさ子&加羽沢美濃～ゆかいな音楽会～函館公演 ・HIGHCOMMUNICATIONS TOUR 2023 THE GHOST of GLAY 函館公演 ・ざいだんアフタヌーンステージ2023（3回） ・十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業 ・ざいだん出前コンサート（2回） ・親子de楽しむジャズコンサート ・仙台フィルハーモニー管弦楽団「オーケストラ・キャラバン」函館公演 ・函館市民文化祭 展示部門「函館アートフェスティバル2023」 ・函館市民文化祭 舞台部門 函館オペラの会第25回公演「不思議の国のアリス」 ・函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ ・ざいだん「邦楽こども教室」（通年コース、冬季短期コース） ・夏休み特別企画「楽器のヒミツ大発見！」～パイプオルガン編～ ・ざいだんアートマルシェ ・スタインウェイを弾いてみよう！ <p>※以下、共催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民舞台芸術奨励事業委員会認定事業 ・第32回「道南口説節全国大会」 ・第41回公演「初春巴港賑」 ・第8回世界のこどもフェスティバル 		

事業名	施設の管理運営等（文化芸術関係）	担当課	生涯学習文化課・文化財課																																			
取組実績	<p>5 芸術ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術ホール キッズフェスティバル2023 ・リサイタルシリーズ～マルティン・ガルシア・ガルシア ピアノ・リサイタル ・リサイタルシリーズ～小林沙羅 ソプラノ・リサイタル ・リサイタルシリーズ～三浦文彰 ヴァイオリン・リサイタル ・芸術ホール開館25周年記念 N響メンバーによるゲートウェイ・ゾリステン ・函館市民文化祭～展示部門「清秋・函館市文団協芸術展」 ・函館市民文化祭～ぶんだん秋の庵（茶席・喫茶去） ・函館市民文化祭～舞台部門「華麗・錦秋の舞台～希望～」 ・バックステージツアー（2回） ・演劇ワークショップ ・五稜郭アーティスト事業登録公演（4回） ・ピアノコンサート・フォー・ユー ・HAKODATE WINTER JAZZ FESTIVAL ・市民美術展 第24回「はこだて・冬・アート展」 ・「はこだて・冬・アート展」特別公開講座 ・令和5年度函館新人演奏会～音楽の新しい風～ ・春風亭小朝独演会 ・2024スプリング・コンサート（2回） 																																					
	<p>【過去5年間の推移】 各施設の利用状況（入館状況）</p>																																					
	<table border="1" data-bbox="320 898 1200 1245"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1 (H31)</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公会堂</td> <td>休館</td> <td>休館</td> <td>84,849</td> <td>157,600</td> <td>182,970</td> </tr> <tr> <td>北洋資料館</td> <td>13,604</td> <td>7,259</td> <td>9,567</td> <td>16,172</td> <td>19,892</td> </tr> <tr> <td>文学館</td> <td>10,520</td> <td>5,648</td> <td>7,050</td> <td>13,687</td> <td>16,186</td> </tr> <tr> <td>市民会館</td> <td>休館</td> <td>44,337</td> <td>89,118</td> <td>133,538</td> <td>156,215</td> </tr> <tr> <td>芸術ホール</td> <td>139,617</td> <td>28,026</td> <td>49,918</td> <td>75,320</td> <td>83,309</td> </tr> </tbody> </table> <p>※公会堂はH30年10月からR3年4月まで保存修理工事のため休館 ※市民会館H29年11月からR2年3月まで改修工事のため休館 ※北洋資料館および文学館は、R2.4.18～R2.5.25まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館 ※市民会館および芸術ホールは、R2.4.20～R2.5.25まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館 ※市民会館ならびに芸術ホールは、R3.5.18～R3.6.20までおよびR3.8.28～R3.9.30まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため時間短縮開館</p>	区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	公会堂	休館	休館	84,849	157,600	182,970	北洋資料館	13,604	7,259	9,567	16,172	19,892	文学館	10,520	5,648	7,050	13,687	16,186	市民会館	休館	44,337	89,118	133,538	156,215	芸術ホール	139,617	28,026	49,918	75,320	83,309	
区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5																																	
公会堂	休館	休館	84,849	157,600	182,970																																	
北洋資料館	13,604	7,259	9,567	16,172	19,892																																	
文学館	10,520	5,648	7,050	13,687	16,186																																	
市民会館	休館	44,337	89,118	133,538	156,215																																	
芸術ホール	139,617	28,026	49,918	75,320	83,309																																	

事業名	関係団体と連携した鑑賞事業の提供	担当課	生涯学習文化課・文化財課			
取組実績	【過去5年間の推移】					
	・出前コンサート：ざいだん出前コンサート（公会堂，亀田交流プラザ）					
	・出前コンサートの開催回数，来場者数 （単位：回，人）					
	区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5
	開催回数	1	1	3	2	2
	来場者数	70	90	289	200	220
	・鑑賞事業：					
	ざいだんアフタヌーンステージ2023，THE GHOST of GLAY 函館公演，十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業 など（市民会館）					
	キッズフェスティバル2023，リサイタル・シリーズ，2024スプリング・コンサート など（芸術ホール）					
	丘の上の芸術祭（公民館） 石川啄木直筆資料展特別展，企画コーナー収蔵資料展（文学館）など					
・鑑賞事業の開催回数，来場者数 （単位：回，人）						
区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	
開催回数	8	14	14	18	17	
来場者数	14, 717	8, 455	14, 429	24, 573	27, 622	

事業名	市民文化祭等の開催	担当課	生涯学習文化課																														
取組実績	<p>【取組実績】</p> <p>1 市民文化祭の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動団体などと連携を図り市民文化祭を開催するとともに、市政はこだて等による情報発信を行った。 <p>〈主な実施内容〉</p> <p>[舞台部門]</p> <ul style="list-style-type: none"> 11.5 「華麗・錦秋の舞台～希望～」 11.19 函館オペラの会 第25回公演「不思議の国のアリス」木下牧子作曲 <p>[展示部門]</p> <ul style="list-style-type: none"> 11.3～11.7 「清秋・函館市文団協芸術展」（文団協加盟団体による書・美術作品等） 11.3～11.6 「ぶんだん秋の庵（茶席・喫茶去）」 11.16～11.19 「函館アートフェスティバル2023」（市民からの応募作品展示） <p>2 函館市文化芸術活動促進補助金の創設</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の自主的かつ活発な文化芸術活動を促進することを目的とし、令和5年9月に新たに「函館市文化芸術活動促進補助金」を創設し、函館市文化団体協議会またはその加盟団体が、本市の文化芸術の振興に資する事業を実施する場合に、同協議会を通じて各加盟団体に対し助成金を交付し支援を行った。 <p>3 亀田交流プラザにおいて芸術作品の展示（試験事業の実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> 亀田交流プラザ3階大会議室前壁面において、芸術作品の発表の場、そして、来館者が芸術作品を鑑賞できる場として有効に活用することで、施設の機能向上を図るため、令和5年4月から、函館市文化団体協議会の協力のもと、芸術作品を展示する試験事業を行った。 また、同事業の制度化の検討材料とするため、アンケート調査を実施した。 <p>・亀田交流プラザ壁面展示内容 [令和5年度] 函館市書藝社の書作品（4月～6月） 赤光社美術協会の絵画作品（7月～11月） 書藝社書作品と赤光者絵画作品の混合展示（12月～3月）</p> <p>【過去5年間の推移】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭来場者数 （単位：人） <table border="1" data-bbox="336 1317 1299 1442"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1 (H31)</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td style="text-align: center;">4,036</td> <td style="text-align: center;">854</td> <td style="text-align: center;">3,238</td> <td style="text-align: center;">3,507</td> <td style="text-align: center;">4,185</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動助成金交付件数 （単位：件，円） <table border="1" data-bbox="336 1534 1299 1688"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1 (H31)</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付件数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td>助成金額(円)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">1,384,000</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	来場者数	4,036	854	3,238	3,507	4,185	区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	交付件数	—	—	—	—	13	助成金額(円)	—	—	—	—	1,384,000		
区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5																												
来場者数	4,036	854	3,238	3,507	4,185																												
区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5																												
交付件数	—	—	—	—	13																												
助成金額(円)	—	—	—	—	1,384,000																												

基本計画の体系	基本目標5 心の豊かさを育む文化芸術の振興															
	施策1 文化芸術活動の促進・支援															
	2 文化芸術に接する機会の拡充															
	(1)文化芸術活動団体などと連携し鑑賞機会の充実を図るとともに、市民文化祭の実施など市民が気軽に文化芸術に接する機会の充実に努めます。															
その他計画の位置づけ	<input type="checkbox"/> 基本構想実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 教育行政執行方針 <input type="checkbox"/> その他 ()															
事業名	戸井地区文化祭の開催	担当課	戸井教育事務所													
事業概要(目的等)	地域社会に結びついた芸術文化の創造と普及および地域文化の振興を目的として、戸井地区文化祭を開催する。															
取組実績	【取組実績】 ・戸井地区文化祭を開催した。 芸能発表部門（社会福祉協議会戸井支所の「令和5年度福祉のつどい」と合同開催） 出演：戸井学園合唱映像上映，戸井幼稚園遊戯，コーラスグループT・O・I合唱， 戸井地区ふれあい学園カラオケ友の会合唱 開催日：9月30日 場所：戸井西部総合センター 集会ホール 展示発表部門：戸井幼稚園園児・戸井学園児童生徒の絵画や書道，一般の陶芸や生け花など 開催日：9月30日から10月4日まで 場所：戸井西部総合センター 研修室・エントランスホール															
	【過去5年間の推移】 戸井地区文化祭来場者数 (単位：人)															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1 (H31)</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>310</td> <td>204</td> <td>280</td> <td>278</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>					区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	来場者数	310	204	280	278
区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5											
来場者数	310	204	280	278	300											
成果と課題	【成果】 ・市民の自主的文化芸術活動の促進と展示発表の機会を提供することができた。 ・文化祭の実施にあたって、地域の文化サークル等により実行委員会を組織し、会場の設営や進行などを行うことで相互の連携が図られた。															
	【課題】 ・文化サークルの減少により、芸能発表や展示発表における出演（展）者数が減少傾向にある。															
評価	○	進捗		成果		課題										
		✓	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）									
			概ね予定どおり	✓	成果が一定程度	✓	課題は小さい									
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい									
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい											
今年度の状況	継続		文化祭を開催し、芸能発表と展示発表を行い、自主的芸術文化活動の促進と地域住民の芸術文化への意識の高揚を図る。													

基本計画の体系	基本目標5 心の豊かさを育む文化芸術の振興																
	施策1 文化芸術活動の促進・支援																
	2 文化芸術に接する機会の拡充																
	(1)文化芸術活動団体などと連携し鑑賞機会の充実を図るとともに、市民文化祭の実施など市民が気軽に文化芸術に接する機会の充実に努めます。																
その他計画の位置づけ	<input type="checkbox"/> 基本構想実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 教育行政執行方針 <input type="checkbox"/> その他 ()																
事業名	恵山文化祭の開催	担当課	恵山教育事務所														
事業概要(目的等)	恵山地域の幼児から高齢者まで幅広い世代の方々が、自主的・創造的に取り組んだ様々な文化芸術活動の成果を文化芸術活動団体等と連携を図りながら発表する場として、恵山文化祭を年1回開催し、住民が気軽に文化芸術に接する機会を提供する。																
取組実績	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館市社会福祉協議会恵山支所との共催によるステージイベント、各種美術作品等の作品展示会を開催した。 ・ステージイベントについては、地域の認定こども園や小・中学校のほか、市内の文化芸術活動団体によるステージ発表を行った。 ・作品展示会については、地域の認定こども園、子育てサロン、小・中学校等7団体のほか、個人参加を含む11組から創作作品（書道、絵画、折り紙、手作りアート、写真等）の出品があった。 <p>展示時期：10月26日から11月7日まで 展示場所：恵山コミュニティセンター</p> <p>【過去5年間の推移】 恵山文化祭来場者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1(H31)</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>586</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>200</td> <td>157</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R2およびR3は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためステージイベントを中止し、作品展示会のみを実施 ※R4は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数制限して開催</p>					区分	R1(H31)	R2	R3	R4	R5	来場者数	586	19	16	200	157
区分	R1(H31)	R2	R3	R4	R5												
来場者数	586	19	16	200	157												
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園や小・中学校、住民が一体となり、昨年度より多くの優れた文化芸術を創造し発表することで、文化芸術の意識の高揚に繋がった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人口減少や高齢化が進行していく中で、作品展示会やステージイベントにおける参加者の減少が見込まれるため、さらなる周知の強化を図る必要がある。 																
評価	○	進捗	成果	課題													
✓		予定どおり		成果が十分		課題はない(ほとんどない)											
		概ね予定どおり	✓	成果が一定程度	✓	課題は小さい											
		やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい											
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい												
今年度の状況	<p>継続</p> <p>地域住民の文化芸術活動の促進・支援を図るため、幼児から高齢者までの幅広い年齢層の文化芸術に係る発表の場や接する機会の充実をめざし、取組を進める。</p>																

事業名	特別史跡五稜郭跡環境整備事業の計画的な推進、重要文化財の保存修理事業の推進	担当課	文化財課																	
取組実績	【取組実績】																			
	1 特別史跡五稜郭跡環境整備事業																			
	<ul style="list-style-type: none"> ・堀内周南西側石垣の石垣補修を実施した。 ・堀内周南東側石垣へ応急修理工事を実施中、一部の対象石垣が崩落した。 ・平成23年度から現在までの事業をまとめた整備事業報告書を令和5年度から令和6年度の2か年で作成予定であり、令和5年度は平成23年度から平成28年度までの事業内容のまとめを行った。 ・石垣定点調査を実施した。 																			
	【過去5年間の推移】 箱館奉行所入館者数 (単位：人)																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 15%;">R1 (H31)</th> <th style="width: 15%;">R2</th> <th style="width: 15%;">R3</th> <th style="width: 15%;">R4</th> <th style="width: 15%;">R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>箱館奉行所</td> <td>156,533</td> <td>66,616</td> <td>76,995</td> <td>145,978</td> <td>176,255</td> </tr> </tbody> </table>			区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	箱館奉行所	156,533	66,616	76,995	145,978	176,255					
	区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5														
	箱館奉行所	156,533	66,616	76,995	145,978	176,255														
	※R1は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3/3～3/19の期間、臨時休館																			
	※R2は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/18～5/25の期間、臨時休館																			
	2 重要文化財の保存修理事業の推進																			
(文化財指定等)																				
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな文化財の指定・登録に向けた調査・協議を進めた。 <li style="padding-left: 20px;">R5. 4. 12指定 函館市指定文化財（有形文化財） 江差屏風 																				
(民間所有文化財建造物の保存修理等)																				
<ul style="list-style-type: none"> ・2件の重要文化財建造物の保存修理等に補助金を交付した。 																				
【過去5年間の推移】 文化財数および国補助事業数 (単位：件)																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 15%;">R1 (H31)</th> <th style="width: 15%;">R2</th> <th style="width: 15%;">R3</th> <th style="width: 15%;">R4</th> <th style="width: 15%;">R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化財</td> <td>149</td> <td>149</td> <td>149</td> <td>149</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>国補助事業</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	文化財	149	149	149	149	150	国補助事業	8	11	8	6	5
区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5															
文化財	149	149	149	149	150															
国補助事業	8	11	8	6	5															

事業名	縄文文化交流事業の推進、世界遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の受入体制の強化と普及啓発活動の推進	担当課	文化財課
取組実績	<p>【取組実績】</p> <p>1 受入体制整備</p> <p>(1) 大船遺跡史跡外駐車場供用、園路整備・電気柵設置 (2) 臨時駐車場開設、シャトルバス運行 5～10月 (3) 垣ノ島遺跡デジタルコンテンツ供用開始 4月～ (4) 垣ノ島遺跡案内窓口施設建設 R6.1月</p> <p>2 普及啓発活動</p> <p>(1) 世界遺産登録2周年記念事業 ・JOMON WEEK 2023 in SUMMER (R5.7.19-30) 於：テオーデパート 第6回北海道新聞縄文絵画コンクール、縄文パネル展・出土品展 みんなで描こうJOMON渡島 with ひづめみかへる ・JOMON WEEK 2023 in AUTUMN (R5.9.30-10.9) DOKI!DOKI!JOMON EXPO in 函館山ロープウェイ はこだて縄文まつり 2023 in 垣ノ島 (R5.10.8) 来訪者 約1,200人 縄文体験学習「中空土偶をだっこしてみよう」(R5.10.9) 参加者77人</p> <p>(2) イベント協力 ・函館空港で「縄文」を感じませんか 出展 4～5月 ・はこだて健幸アプリ～Hakobit (ハコビット) 縄文コース設定 ・地学協働学習フォーラム 共催 (R5.5.20) ・埼玉イオンレイクタウン mori「北海道フェア」(越谷市) 出展 (R5.9.20-23) ・JOMON FESTIVAL 2024 縄文雪まつり(札幌市) 出展 (R6.2.3-4) ・ナチュの森で縄文にであう展(白老町) 後援 (R6.3.15～)</p> <p>3 縄文遺跡群世界遺産本部関連事業</p> <p>・縄文フォトコンテスト2023 (R5.7.14-R6.1.12) ・世界遺産フォーラム 参加 (R5.11.23:大阪, R6.1.28:東京)</p> <p>4 北海道・北海道教育委員会関連事業</p> <p>・北海道博物館「北の縄文世界と国宝」展 出品 (R5.7.22-10.1), フォーラム出席 (8.19) ・縄文×NF Tデジタルスタンプラリー 協力 (R5.10.13-R6.1.31) ・インタープリテーション調査研究 協力 (R5.11.1) ・国際研究会・国際シンポジウム 参加 (R5.11.4-5) ・教育旅行説明会・相談会(東京・横浜・名古屋・大阪) 参加 (R5.12.5-8) ・「北の縄文展 2023 in 北斗市」 出品 (R5.12.1-R6.3.16) ・ガイド研修および情報交換会 参加 (R5.12.9) ・世界遺産子どもサミット 参加 (R6.2.1) ・渡島フロンティア人材育成事業web発表会 参加 (R6.2.19) ・青函圏フォーラム×JOMON フォーラム 参加 (R6.3.14) ・縄文エリアアクセスMAP作成 協力 (R6.3～)</p> <p>5 縄文関係団体関連事業</p> <p>・北の縄文CLUB 大船遺跡周辺清掃 (R5.4.15), 大船遺跡での土器野焼き (R5.10.14) ・縄文DOHNANプロジェクト 小学校新入学1年生へ縄文グッズ配布 協力 (R5.4.10) 縄文かるた作成 協力 (R5.11.3), かるた大会 協力 (R6.3.20) ・史跡内への植樹・ベンチ等設置 10・11月(南茅部森と海の会・北海道中小企業家同友会)</p> <p>6 郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」 市立小学校3年児童(約1,500人)の縄文施設現地学習</p> <p>7 縄文遺跡およびガイダンス施設運営</p> <p>(1) 垣ノ島遺跡 ・定時解説〔1日3回〕, 発掘体験〔1日2回〕 4～10月 (2) 大船遺跡 ・定時解説〔1日2回〕 4～10月 (3) 縄文文化交流センター ・企画展「戸井貝塚展」(R5.8.1-10.1) ・各種講座(土偶づくり, 石鏃づくりなど)</p> <p>8 他部局による縄文世界遺産の活用推進に係る主な取組</p> <p>(1) 定期観光バス「はこだて縄文ライナー」運行(実証実験) 8～10月 [南茅部支所] (2) 中国語ガイド人材育成事業 中国語通訳5名参加 [観光部]</p>		

基本計画の体系	基本目標5 心の豊かさを育む文化芸術の振興																												
	施策2 文化遺産の保存・活用と伝統文化の継承																												
	1 文化遺産の保存・活用																												
	(3)博物館や図書館において収蔵している資料を展覧会などで展示するとともに、デジタル化して保存・公開するほか、(仮称)総合ミュージアムの整備を検討するなど、市民や観光客が函館の歴史に理解を深める取組を推進します。																												
その他計画の位置づけ	<input type="checkbox"/> 基本構想実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 教育行政執行方針 <input type="checkbox"/> その他()																												
事業名	博物館講座の充実, 企画展の充実, 博物館資料の整理, 活用	担当課	博物館																										
事業概要(目的等)	他の教育機関などと連携して展覧会を開催するとともに、体験型の講座を開催し、市民の郷土愛の育成や学習意欲の向上に努める。																												
取組実績	【取組実績】 <ul style="list-style-type: none"> 企画展「外国人が見たみなとまち HAKODATE」では、展示だけにとどまらず、市民を対象とした「展示解説セミナー」を開催した。 ロビー展「函館大火90年 - 昭和9年3月21日 函館の街が焼けた日 -」を開催。 ホームページ内のデジタルアーカイブでは、収蔵資料のデジタル画像データ数を増やしたほか、公式フェイスブックページに加え、公式YouTubeチャンネルを開設し情報発信に努めた。 博物館講座は、小学生を対象とした夏休み自由研究の体験講座をはじめバックヤードツアーなどのおもてなし講座を開催した。 																												
	【過去5年間の推移】 入館者数 (単位:人)																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元(H31)</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>博物館本館</td> <td>14,756</td> <td>8,933</td> <td>10,836</td> <td>14,250</td> <td>14,082</td> </tr> <tr> <td>郷土資料館</td> <td>7,805</td> <td>4,787</td> <td>4,864</td> <td>6,196</td> <td>5,740</td> </tr> <tr> <td>北方民族資料館</td> <td>25,142</td> <td>12,776</td> <td>19,384</td> <td>35,650</td> <td>42,517</td> </tr> </tbody> </table>						区分	R元(H31)	R2	R3	R4	R5	博物館本館	14,756	8,933	10,836	14,250	14,082	郷土資料館	7,805	4,787	4,864	6,196	5,740	北方民族資料館	25,142	12,776	19,384	35,650
区分	R元(H31)	R2	R3	R4	R5																								
博物館本館	14,756	8,933	10,836	14,250	14,082																								
郷土資料館	7,805	4,787	4,864	6,196	5,740																								
北方民族資料館	25,142	12,776	19,384	35,650	42,517																								
成果と課題	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 1854年の箱館開港以降にはこだでの街を訪れた外国人のスケッチや手記を題材とした企画展では、市民や観光客に、彼らが見た景色やモノ、関連資料について理解を深める機会を提供することができた。 企画展や収蔵資料展では、多くの貴重な資料を広く市民や観光客に紹介することで、博物館本館と収蔵している資料のPRに繋がった。 博物館講座では、小学生や保護者等を対象とした講座を実施し、市民に学ぶ機会を提供することができた。 ホームページやSNS(フェイスブック)、YouTubeを活用し情報発信したことで、市民や観光客に博物館および収蔵資料について周知を図ることができた。 																												
	【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の場として、博物館を利用している市民が少ないことから、講座や展覧会の一層の充実を図り、博物館のPRにも努める必要がある。 郷土資料の展示機能を担う郷土資料館については、繁忙期(5月~10月)の入館者数が約8割と偏りが大きいことから、閑散期の入館者増に向けて、より一層PRに努める必要がある。 																												
評価	○	進捗		成果		課題																							
		✓	予定どおり		成果が十分		課題はない(ほとんどない)																						
			概ね予定どおり	✓	成果が一定程度	✓	課題は小さい																						
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい																						
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい																								
今年度の状況	継続 テーマを変え、講座や企画展など事業の充実を図るとともに、フェイスブックやYouTubeなども活用し、日曜日の無料入館の周知を含め、市民や観光客の関心を高めながら、生涯学習の場としての役割を果たしていく。																												

基本計画の体系	基本目標5 心の豊かさを育む文化芸術の振興																												
	施策2 文化遺産の保存・活用と伝統文化の継承																												
	1 文化遺産の保存・活用																												
	(3)博物館や図書館において収蔵している資料を展覧会などで展示するとともに、デジタル化して保存・公開するほか、(仮称)総合ミュージアムの整備を検討するなど、市民や観光客が函館の歴史に理解を深める取組を推進します。																												
その他計画の位置づけ	<input type="checkbox"/> 基本構想実施計画 ■教育行政執行方針 <input type="checkbox"/> その他()																												
事業名	図書館郷土資料の整理・活用, デジタルアーカイブ事業の推進	担当課	博物館																										
事業概要(目的等)	資料の適切な管理・保存をするため、図書館システムへの未登録資料のデータ登録作業を行うとともに、蓄積データの整理を進め、インターネット公開サイト「デジタル資料館」において資料公開を行う。																												
取組実績	【取組実績】 <ul style="list-style-type: none"> 資料の管理体制・保存方法の見直しを含めた書庫内整理を行うとともに、順次、図書館システムに未登録資料のデータ登録作業を行った。 地元大学との連携を図り、蓄積されたデータの整理を進めながら、インターネットで公開しているデジタルデータ公開サイト「デジタル資料館」の充実に努めた。 市民や観光客に函館の歴史について理解を深めてもらうため、資料公開を進めた。 																												
	【過去5年間の推移】 デジタル資料館の利用状況 (単位:人,回)																												
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1(H31)</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタル資料館ユーザー数</td> <td>17,150</td> <td>17,298</td> <td>17,134</td> <td>17,564</td> <td>11,235</td> </tr> <tr> <td>デジタル資料館アクセス数</td> <td>458,302</td> <td>413,992</td> <td>469,654</td> <td>497,689</td> <td>369,159</td> </tr> <tr> <td>函館市史デジタル版アクセス数</td> <td>977,085</td> <td>1,528,223</td> <td>2,187,350</td> <td>1,941,129</td> <td>748,426</td> </tr> </tbody> </table>						区分	R1(H31)	R2	R3	R4	R5	デジタル資料館ユーザー数	17,150	17,298	17,134	17,564	11,235	デジタル資料館アクセス数	458,302	413,992	469,654	497,689	369,159	函館市史デジタル版アクセス数	977,085	1,528,223	2,187,350	1,941,129
区分	R1(H31)	R2	R3	R4	R5																								
デジタル資料館ユーザー数	17,150	17,298	17,134	17,564	11,235																								
デジタル資料館アクセス数	458,302	413,992	469,654	497,689	369,159																								
函館市史デジタル版アクセス数	977,085	1,528,223	2,187,350	1,941,129	748,426																								
成果と課題	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 順次、図書館システムに未登録資料のデータ登録を行い、「デジタル資料館」を充実させ、蓄積したデータの資料をインターネットで公開することで、市民や研究者等は、函館の歴史についての理解を深めることができた。 研究者等に活用してもらうことで、所蔵している郷土資料を、広く発信することができた。 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちをはじめ多くの市民に、郷土への愛着を育んでもらうため、デジタル資料館を充実させるとともに事業のPRに努める必要がある。 																												
評価	○	進捗		成果		課題																							
		✓	予定どおり		成果が十分		課題はない(ほとんどない)																						
			概ね予定どおり	✓	成果が一定程度	✓	課題は小さい																						
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい																						
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい																								
今年度の状況	継続		郷土資料の整理と資料のデジタル化を積極的に進め、市民などに函館の歴史についての理解を深め郷土愛を育んでもらうため、積極的に事業を推進する。																										

